

[] 空所補充

(1) **By the year 2020 will be (1) married people than single people.**

既婚者と独身者との比較。**than** があるので比較級ではない a は除外。
本文では結婚観の変化が述べられており、独身者が増えている事実に触れている

d

(2) **In the past, people got married and (2) married.**

過去の結婚の様子。直後の文に「離婚することは難しく、長い時間がかかった」とある。ということは、一度結婚したら別れることなく結婚生活を維持していたはずである。

d

(3) **The only reason for a short marriage was usually (3) of the husband or wife.**

離婚が困難だった当時、短期間での離婚の「たった一つの理由」となりえたものを探す。
夫または妻の「死」「幻想」「野望」「介在・仲裁」

a

(4) **Many couples, mostly in their twenties or thirties, live together (4) getting married.**

結婚観が変化した現在の様子を述べている。

b

(5) **~ many women do not want to have children (5).**

選択肢から、現在の女性が「子供を産む時期」の話。「多くの女性は (5) 子供を産むことを望んでいない」「永久に」「即座に」「遅かれ早かれ」「遅すぎる」

b

(6) **~ they often decide not to have a baby (6) they are in their late thirties, or even forties.**

後ろに S + V の形があるから、前置詞の a は不可。b **that** 節だと「~ということ」または前の **baby** と同格になって、「~という赤ちゃん」となる。e の「~するといつでも・いつ~しても」では意味不明になってしまう。

c 前の文で出産年齢が高くなっていることから、意味の上でのつながりもできる。

(7) **The government gives help to single parents, (7) money can still be a problem.**

空所の前に「政府の援助」があり、後ろに「お金が問題になる」ことが書いてある。
援助してもらってもお金が問題になるというつながりになるはず。

d

イギリスの家族は変わりつつある。2020年までに既婚者の数は未婚者を下回るだろう。過去においては、結婚すれば離婚することはなかった。離婚することは難しく、長い時間がかかった。短期間で離婚することの唯一の理由となるのは夫または妻との死別というのが普通であった。しかし今日、人々の結婚観が変わりつつある。20代から30代の多くのカップルが結婚することなく一緒に暮らしている。このようなカップルのうち最終的に結婚するのはおよそ6割である。

現在結婚年齢はより高くなっており、多くの女性はすぐに子供をもうけたいとは思っていない。彼女たちはまず自分の仕事でうまくやりたいと思っており、そのため子供を作る決心をするのはやっと30代後半か、40代になってからである。

以前は結婚してから子供を作ったものだが、現在ではイギリスの子供の約4割が独身者の親の元に生まれている。イギリスにおける親が独身の世帯数は増加しつつある。独身の親はたいていの場合離婚した女性か、未婚の女性である。政府は独身の親に対して援助しているのだが、それでもなお、お金が問題となりうる。さらに、様々な研究によると、概して伝統的な形態の、両親のそろっている家庭では子供はより幸せになり、より成功するのである。

[] 語句整序

- (1) We waited (a. as b. not c. stopped d. until e. so f. get g. the h. to i. rain) wet.
waited から、この文は過去の文だとわかる。なので選択肢の stopped を動詞として、主語になれる名詞を探す。となると、the rain stopped という S + V ができるので、その前に接続詞 until をつける。 until the rain stopped
原形動詞 get については as と so に注目。so as to 原 V ~ : ~ するために の形を作る。
so as not to get not の位置に注意！
準動詞(不定詞・分詞・動名詞)の意味を否定するには、準動詞の前に not をつける！
We waited until the rain stopped so as not to get wet.

- (2) I (a. piano b. really c. do d. learning e. play f. to g. the h. not i. regret) when I was a child.
選択肢の中で、play the piano はくっつきそうだ。そのほかの動詞について見ていくと、regret の後ろには不定詞か動名詞が続くはず。そこで learning に目をつけよう。learn の後ろには不定詞を続けることができる。なので regret learning to play the piano という形ができる。このままだと、「ピアノが弾けるようになったことを後悔している」ことになる。そこで、動名詞 learning の前に not をつけると「ピアノが弾けるようになれなかったことを後悔している」とできる。
残る選択肢は b と c。do は肯定文の原形動詞の前に書くことで動詞を強調する助動詞の役割を果たす。
I really do regret not learning to play the piano when I was a child.

- (3) Bill came to depend (a. more b. brother c. was d. his e. all f. his g. the h. because i. father) busy with his job.
選択肢に並んでいるものから、all the 比較級 ~ + 理由表現 ……なのでそれだけいっそう ~ が見つけられればもうこっちのものだ！
Bill came to depend his brother all the more because his father was busy with his job.

- (4) The doctor told (a. in b. me c. mother d. that e. to f. have g. be h. might i. my) hospital for a month or so.
tell の語法を考える。選択肢に並んでいるものから、tell + 人 + that S + V ~ が使えるぞ。
また、that S + V ~ 中の動詞表現、「しなければならぬ」ことから have to 原 V ~ を組み立てて、それと助動詞を組み合わせる。 might have to be このあとに in hospital と続けると、「入院しなければならぬかも」とできる。
The doctor told me that my mother might have to be in hospital for a month or so.

- (5) Some parents let (a. make b. children c. while d. stay e. parents f. their g. late h. other i. up) their children go to bed early.
let の語法 let + 人 + 原 V ~ 人が ~ するのを許す を使えば、let their children stay とできる。
また、選択肢に make があるので、後ろの their children go を使えば make + 人 + 原 V ~ 人に (ムリヤリ) ~ させる の形ができる。make の主語として other parents という名詞を置いて、その前に接続詞 while をつければ後半部分は完成。残る選択肢は 2 つ、g. late と i. up だが、stay の後ろで使えば stay up late 「夜更かしする」ができあがる。

Some parents let their children stay up late while other parents make their children go to bed early.

[] 対話文空所補充

- (1) c 呼び止められたタクシーの運転手が最初に言う言葉。行き先をたずねる。
- (2) b 交通 (traffic) の状態を述べる。交通量の多 少 は heavy light で表す。次のスミス氏の台詞 “be jammed” から、道は「混んでいる」ことがわかる。
- (3) d 疑問文なのに is が主語の後ろにある。疑問文の形になっていないので、疑問詞は不可。How come はふつうの文の前に置いて「いったいなんで～？」の意味を表す。Why ~? よりも口語的。
- (4) a 主語は「このあたり」なので、b ほとんどない c 重たい d 小さいだと意味不明の文になる。busy は人が主語だと「忙しい」、場所や乗り物などが主語になると「混んでいる」という意味。
- (5) b 空所は「お急ぎですか?」「うん。でも...」のところなので、a 速く行け c 急げ だと、前の But と合わない。d 「自分でやれ」って、そう言われてもなあ。
- (6) c 前後のセリフを見ると、ここでは「話題の転換」が行われている。なので、「ところで」
- (7) d 第一ビルに着いたときのセリフ。第一ビルに向かっていく a や b は合わない。中に入っているのもどうかと。ここはひとつ、「第一ビルのところにいる」という at にするように。
- (8) a 第一ビルのところから目当ての劇場を探し当てたところ。話題の中心は「劇場」なので it が主語になっている a か d に絞られる。目的地に着いたときの表現は Here we are! となるはず。There it is の語順がおかしいと思う人もいるかもしれないけれど、There is ~ の主語は不特定の名詞でなければならない。代名詞というのは特定されているものなので、There is it という形はありえない。
ところで、最初の「ミラクル・シアター」って、どうなったんだ?
- (9) b 運転手さんの「見つかってよかったです」に対する相づち。b 以外の「なるほど」とか「みなまでいうな」とか「どういたしまして」とか、どう考えても合わない。
- (10) a 相手にモノを手渡すときの「ハイどうぞ」にあたる表現(ここではタクシー料金)。Here it is. だと渡す「物」を重視、Here you are. だと「相手」を重視した言い方。

スミス タクシー！
運転手 どちらまで？
スミス ミラクル・シアターまで行きたいんだ。
運転手 かしこまりました。
スミス 長くかかるかね？
運転手 道がかなり混んでますからねえ、20分ほどかかるんちがいますか？
スミス どうしてこの時間って、混むのかね。
運転手 ここいらはいーつつも混みあってるんですわ。お急ぎですか？
スミス ああ、だが、気をつけて運転してくれよ。
運転手 わかりました。
スミス ところで、トライアングル・シアターがどこにあるか知ってるかい？
運転手 すみません、知りませんわ。住所知ったはりますか？
スミス いや、知らない。でも第一ビルの近くだっていうことは聞いたよ。
運転手 ああ、第一ビルなら知ってますよ。
スミス あー、じゃあ、そこに連れてってくれ。そこで誰かにたずねてみよう。(数分後)
運転手 第一ビルに着きましたで。もう少し先に行ってみますか？
スミス ああ、そうだな。ゆっくりと頼むよ。(少しあとで) ああ、あった。
運転手 見つかってよかったですね。
スミス そうだね。いくらになる？
運転手 ちょうど2000円ですわ。
スミス ほら。
運転手 ありがとうございます。